

宿泊税を財源として充実・強化する取組

- 30年度の宿泊税充当事業は「市民、観光客、観光関係事業者が30年度に宿泊税の導入効果を実感できる」取組に充当
- とりわけ「現下の観光課題を早急に解消し、市民生活との調和を図る取組」に優先して充当

①混雑対策

京都市を訪れる観光客が一部観光地に集中し、観光地周辺や公共交通機関の混雑につながっているため、これらの課題を解消するための取組を充実・強化

<具体的な取組>

- 観光地等の混雑緩和に向けて、手ぶら観光の普及促進や観光案内標識の設置・改良等の取組を推進
- 観光客の3つの集中（場所・時間・季節）の緩和に向けた取組を強化
朝観光・夜観光の推進、新たな観光資源（隠れた名所）の発掘・PRなど
- 公共交通機関の更なる有効活用や混雑緩和等に向けて、ビッグデータ等を活用した交通流動実態調査を実施
- 市バス等の公共交通機関の混雑緩和の取組を強化
「前乗り後降り」方式の導入による乗降時間の短縮

充当額

5億円

②民泊対策

昨今、急増している民泊については、利用者の騒音やごみ投棄などにより、周辺地域の市民生活に影響が生じており、違法・不適切な民泊の通報・監視・指導等の体制を強化

<具体的な取組>

- 違法・不適切な民泊に対する指導の強化
民泊通報・相談窓口 体制強化やアドバイザー派遣の新設
現地調査員（見回り部隊） 4人体制からの倍増を予定
- 民泊等に対して「消防検査済表示制度」を創設するなど、宿泊者及び周辺住民の安心・安全を確保

充当額

1.5
億円

③宿泊事業者支援

宿泊税の導入にあたっては、宿泊事業者の協力が不可欠であり、宿泊事業者への負担軽減策や経営強化に向けた支援策を実施

<具体的な取組>

- 宿泊税の導入を踏まえ、宿泊事業者が円滑に事務を行えるよう個別相談会・セミナーを実施
- 旅館等の経営力強化や魅力発信に向けた取組を支援
- 宿泊事業者への事務補助金の創設（31年度から交付）
前年度の特別徴収額の2.5%（当初5年間は3%）を補助金として交付

充当額

0.5
億円

経費規模 1億4,000万円

事業経費 37 億円
うち充当額 19 億円

④受入環境整備

外国人をはじめとする観光客等の増加により、観光インフラの整備（利便施設の多言語化、観光トイレ等の拡充）や観光客のマナー対策などが課題となっており、これらの受入環境の整備により、市民生活の満足度も高めていく

<具体的な取組>

- 中国語など多言語での啓発記事や海外のWEBサイト、ガイドブック等での周知など外国人観光客のマナー啓発の取組を充実・強化
- 観光地周辺トイレの洋式化等による受入環境の整備・充実
観光トイレ 認定箇所数 38箇所→50箇所（⑩～⑪）
公衆トイレ 洋式便器設置率 100%達成（⑩～⑪）でリニューアルを実施
公園・駐車場トイレ 洋式化・清掃回数増
- 京都観光オフィシャルサイトの機能強化
京都の奥深い魅力だけでなく、観光地の分散化やマナー啓発（京都の生活スタイル・習慣）などの記事コンテンツも充実

充当額

4 億円

⑤京都ならではの文化振興・美しい景観の保全

京都に蓄積された日本の歴史・文化、これらが織りなす景観を次の世代にしっかりと引き継ぎながら、京都の都市の品格、魅力を一層向上させる施策を推進

京都ならではの文化振興（文化資源の継承・担い手育成）

<具体的な取組>

- 京町家を将来の世代に継承していくための取組を充実・強化
重要京町家・京町家保全重点取組地区の京町家の改修助成制度の創設
市が借り上げた京町家を、民間を通じて流通させる賃貸モデル事業の実施
新築の京町家の普及促進（新築京町家の基準の検討）
- 子どもたちが文化芸術に触れる機会を創出し、京都の文化力・おもてなし力の向上を推進
- 京都伝統産業ふれあい館のリニューアル（⑩～⑪の2箇年で実施）

充当額

6 億円

京都ならではの美しい景観の保全

<具体的な取組>

- 無電柱化事業の推進
先斗町通，銀閣寺道，長辻通

充当額

2 億円

【徴税コスト（システム改修等）】

平成 30 年度予算における宿泊税充当事業

[1 混雑対策]

- ①観光地等における混雑緩和策 118 (116)
手ぶら観光の普及, 観光案内標識の設置・改良, 臨時観光案内所の機能充実
- ②隠れた名所の活用等による観光地分散化 42 (20)
- ③修学旅行生誘致に向けた取組の充実 16 (16)
修学旅行生の安全対策や修学旅行の時期分散化に向けた取組の推進
- ④地域と連携した観光と市民生活との調和推進事業 6 (6)
- ⑤ビッグデータ等を活用した交通流動実態調査 30 (30)
- ⑥観光地等交通対策(嵐山地区, 東山地区) 24 (23)
- ⑦交通バリアフリー化対策 449 (153)
駅等のバリアフリー化(阪急西院駅など)
道路のバリアフリー化(烏丸通, 本町通など)
- ⑧自転車走行環境整備 148 (36)
- ⑨安心・安全な東大路歩行空間創出事業 303 (60)
- ⑩市バスの混雑対策(前乗り後降り方式導入) 24 (19)

[2 民泊対策]

- ⑪「民泊」対策事業 134 (134)
通報・相談窓口の体制強化, 現地調査員(見回り部隊)の増強, 簡易宿所に対する査察強化など
- ⑫民泊等に対する火災予防対策の推進 10 (10)
- ⑬地域まちづくり支援の取組の推進 7 (7)

[3 宿泊事業者支援]

- ⑭旅館をはじめとする宿泊施設の経営強化・魅力発信支援 43 (43)

[4 受入環境の整備]

- ⑮インバウンド需要獲得強化・マナー啓発事業 54 (35)
外国人観光客マナー啓発, 多言語化・免税店化など外国人観光客の受入環境整備
- ⑯ユニバーサルツーリズム普及促進事業 5 (5)
- ⑰災害時の観光客等への対策 11 (11)
- ⑱観光地周辺のトイレ洋式化等による受入環境の整備・充実 510 (248)
- ⑲観光・文化コンテンツの発信力強化事業 51 (51)
京都観光オフィシャルサイトの機能強化など

[単位：百万円]
※（ ）は充当額

[5 京都ならではの文化振興・美しい景観の保全]

⑳京町家の保全及び継承に関する取組の充実・強化 325 (223)

京町家の改修等に係る助成制度の創設・拡充など京町家の継承に向けた取組の推進

㉑文化財の保全・継承に向けた取組の推進 165 (155)

“京都を彩る建物や庭園”助成制度，市指定文化財等保存修理など

㉒伝統文化・伝統産業の担い手育成 73 (64)

京都伝統産業ふれあい館リニューアル，子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出など

㉓歴史的景観の保全に向けた取組の推進 251 (119)

歴史的景観を保全・継承する京の道づくり，歴史的町並み再生事業など

㉔無電柱化事業 636 (66)

㉕「文化芸術都市・京都」の新たな文化ゾーンの創出に寄与する「高瀬川再生プロジェクト」の推進 8 (8)

[宿泊税導入に必要な経費]

宿泊税導入に伴うシステム改修 184 (184)

課税・徴収事務経費 56 (56)

宿泊事業者への事務費補助金 31年度から実施

前年度の特別徴収額の2.5%(当初5年間は3%)を補助金として交付